

第2号報告 活動計画

(令和5年10月1日～令和6年9月30日)

I. 基本方針

副代表 渡邊 幹雄

1. 基本方針

滋賀県レイカディア大学が草津キャンパス・彦根キャンパスとして新たに昨年スタートしました。現在、65歳定年、70歳までの再雇用と雇用年齢が上がり、そのことからレイカディア大学に入学される年齢幅が減少し、非常に厳しい学生募集環境になってきていますが、43期・44期・45期と3年にわたり先輩方のご努力により3学科とも開講と成りました。

サポートの会は、大学事務局、在学生、同窓会、えにしの会などと連携して今後も継続してレイカディア大学の認知度を上げることが大切であると考えています。

第9期からの学生募集スローガン「1・3・1・70」を継承し、“彦根キャンパスの基礎を作ろう”を目標に第10期の活動テーマを継承して計画達成を図るため、サポートの会全員で取り組み、サポートの会彦根キャンパスの基礎を作る覚悟です。

また、大学事務局との連携を密にして在学生の授業サポートをしながら会員相互の交流と親睦を図り、広く仲間づくりができる環境にして行きたいと考えています。

2. 活動テーマ

～ささえあい、たすけあい、みんなで楽しもう～

3. 活動計画

- (1) 大学事務局と連携をして、在学生をサポートできる体制を構築していきます。
- (2) サポートの会に入会して「こんなことではなかった」と言われないうちに、在学生との座談会、わかりやすい説明方法などの検討をして、どうすればサポートの会が“楽しい会”になるかを考えていきたい。

- (3) サポートの会をはじめ大学事務局、在学生、同窓会のご協力を得て、学生募集プロジェクトを中心に全会員が一体となり、「1・3・1・70」をスローガンに“ささえあい、たすけあい、みんなで楽しもう”をテーマに第10期の基本方針を継承し計画・目標を達成していきたい。
- (4) 令和5年は2学年がそろっての大学祭が開催されました。その大学祭については、サポートの会と在学生が一体となり彦根キャンパスでの新たな大学祭のあり方を考えて参ります。
- (5) レイカディア大学での培った知識・教養を活かし、地域ボランティア活動と地域貢献活動調査を地域活動プロジェクトが中心になり全会員が一致団結して成功に導きたい。
- (6) “在学生の授業サポートと在学生との交流及びサポートの会3学年の交流”については、新設の交流部会及び各学科部会が中心になり各スタッフ・プロジェクトが協力し、会員相互の親睦が図れるような行事活動の企画立案をしていきたい。
- (7) 各部会・PJ 会議の今年度の取り組み方針の詳細については、年初の役員会にて決定し、今年1年間各々の目標・計画を達成出来る体制を創っていききたい。
- (8) 会議予定、活動計画、活動報告及びホームページ に関しては、スタッフの総務部、広報部を中心に活動して、全会員が情報を共有化し、サポートの会の発展のために活動できる体制を創っていききたい。

以上